

事業者向け 児童発達支援自己評価表

キッズランドまめの木 柿岡校

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	22%	56%	22%	知的障がい者と身体障がい者が同じ空間にいるため、危険リスクがある。スペースが狭いように感じる。パーテーションを使用して個人のスペースが保たれるように工夫している。生活介護の定員と合わせると狭く感じる。
	2	職員の配置数は適切であるか	67%	11%	22%	男子の利用者が多いが男性職員が少ない。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	33%	44%	22%	トイレの数が少なく、男女の差別がない。手洗い場の高さが高い。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか <u>PDCA…P(計画)D(実行)C(評価)A(改善)</u>	44%	0%	56%	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	89%	0%	11%	毎年、アンケートの結果から改善策をミーティングにて話し合っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所のホームページ等で公開しているか	56%	0%	44%	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか(まめの木では、第三者評価は行っていない)	0%	56%	44%	
	8	職員の資質の向上のために、研修や勉強会の機会を設けているか	89%	0%	11%	キャリアパス以外にも、毎月事業所内で議題を考えて勉強会を実施している。県の福祉協会の研修にも積極的に参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の要望や課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	89%	0%	11%	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツール(知能検査・発達検査)を使用しているか	11%	33%	56%	
	11	児童発達支援計画には、「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	67%	11%	22%	
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	89%	0%	11%	定期的に支援計画を見直し、必要とされる支援を行っている。
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	78%	11%	11%	多職種と連携してプログラムを考えている。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	78%	0%	22%	個別性を考えて、職員同士で考えて作成している。
	15	子どもの特性や家庭状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	67%	11%	22%	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	78%	22%	0%	朝の会を実施し支援内容の確認をしている。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	67%	33%	0%	送迎に出してしまうので翌朝の朝の会で共有している。改善点があった場合には次に行かせるような話し合いができています。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	78%	11%	11%	
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	78%	11%	11%	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	89%	0%	11%	
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	44%	11%	44%	
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%	0%	かかりつけ医や病院と連携を取っている。必要時にはカンファレンスに参加して連携を図っている。小学校就学前に移行支援として連携を図っている。
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	100%	0%	0%	かかりつけ医や急変時の対応などを把握し、直ぐに対応できる体制を整えている。
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	22%	22%	56%	移行支援会議などに参加している。
	25	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	44%	0%	56%	
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0%	33%	67%	検討していきたい。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	89%	11%	交流保育などの機会があれば実施したい。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	11%	89%	0%	検討していきたい。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	送迎時に日々の様子を細やかに伝え合っている。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	56%	11%	33%	適宜、助言等実施している。
	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	78%	0%	22%	契約時に実施している。

保護者への説明責任等	32	作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	0%	
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	89%	0%	11%	相談事あ職員間で共有して支援の向上に努めている。
	34	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0%	0%	年に1回実施している。
	35	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	78%	0%	22%	
	36	定期的なまめの木通信を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	毎月配布している。
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	0%	
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	11%	44%	44%	
	非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	89%	11%	0%
41		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	毎月実施している。年に2回は通報訓練を消防署と連携して通報訓練を行っている。災害時の訓練だけでなく防犯訓練も定期的実施している。
42		事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	0%	てんかん発作時の対応を事前確認し、お薬がある場合にはお預かりして、直ぐに対応できる体制を整えている。
43		食物アレルギーのある子どもについて、保護者の意向や医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	契約時にアレルギーに関する確認を実施している。お弁当にはアレルギー物質の記載があり、確認してから提供している。
44		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	毎月のミーティングにて共有している。分析を行い、事故に繋がらないように配慮している。
45		虐待を防止するため、職員の研修や勉強会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	毎年、虐待防止に関する勉強会を実施している。
46		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%	0%	0%	